

# 山内良一先生のご退職によせて

経済学部長 金 栄 緑

山内良一教授は、平成 29 年 3 月をもって経済学部を定年退職されることになりました。ここに長年にわたる熊本学園大学および経済学部に対する先生のご貢献に感謝の意を表する次第です。

山内先生は、1976 年九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学された後、九州大学経済学部助手、九州大学付属産業労働研究所助手を経て 1978 年熊本商科大学（現・熊本学園大学）経済学部農業政策担当の講師として赴任されました。以来教育と研究に情熱を注がれ、大学ならびに学部の発展に寄与されてきました。

山内先生は、農業政策の研究に一貫して専心され、EU の農村地域開発政策、農業や農村のもつ公益的機能の経済評価、中山間地域活性化の政策など優れた研究業績を残しています。中でも、農業の 6 次産業、グローバル化をキーワードにした多方面の研究、学会報告などからは、時代の変化に日本の農業特に熊本の農業・農村地域の発展を念頭に置いた研究活動であると思います。

このような先生の研究は地域社会でも評価され、県その他外部の農業関連の各種委員会の主要メンバーとして現在まで精力的に活動されています。

教育面では、主に「農業政策」を担当され、特に専門ゼミでは毎年「現代日本の農業の政策課題」というタイトルで卒業論文集を発刊しています。この卒業論文集は、1993 年度から始まり私の記録が正しければ、2019 年度には vol. 26 が発刊されることになると思います。

教育・研究・社会貢献という今大学の教員に求められている責務を見事に遂行される傍ら、学部ならびに大学の発展にも全力を注がれ、経済学部長、大学付属産業経営研究所長、熊本学園評議員、熊本学園理事などの役職を歴任し、大学の重要な変革と発展に寄与されておりました。

私事になりますが、何回か判断や決断に困ったときに山内先生の研究室を訪ねたことがあります。読みかけの本や論文、各種資料のあふれたまるでカオスのような私の研究室とは違って、きれいに整理整頓された書類や研究資料と、10 数年前のことであってもすぐにファイルを取り出し的確なアドバイスをする様子は、普段でも感じる先生の真面目な丁寧さそのものでした。山内先生の経済学部長は 16 年も前のことですが、山内先生の記録、ファイリングは大事

に残っており、今もなお有用に使われております。

冒頭で触れました山内先生の卒業論集の始めの部分にはゼミ活動を通しての出来事や感想などが書かれた「贈ることば」があります。そこには毎年、経済学部創設期の農業政策専門家で本学教授、歌人でもあった太田遼一先生の以下の歌をもって卒論の指導を終え、ゼミ生を社会に送る気持ちを表しております。山内先生のこれまでの教育と研究へのご尽力に感謝するとともに、今後はなにとぞ健康に十分留意されて、これまで以上にご活躍されることを祈念いたしまして、退職記念号に寄せる言葉といたします。

“大阿蘇の けむりはるかなる演習室に  
現代の危機を論じあひたり”